

しんおんせん

議会だより



牛まつり造型物コンテスト

平成23年度 一般会計・特別会計決算認定

P2～7

一般質問 10名が質問

P8～17

条例制定・改正

P18

平成24年度 一般会計 補正予算 特別会計

P19

委員会報告

P20～21

臨時会・意見書

P23

委員会視察研修報告

P22

採決一覧表

P23

みんなの広場

P24

上山高原エコミュージアム

しんおんせん議会だよりは、四季折々の色で印刷しており、今回は稲穂のこがね色です。

23年度 決算認定

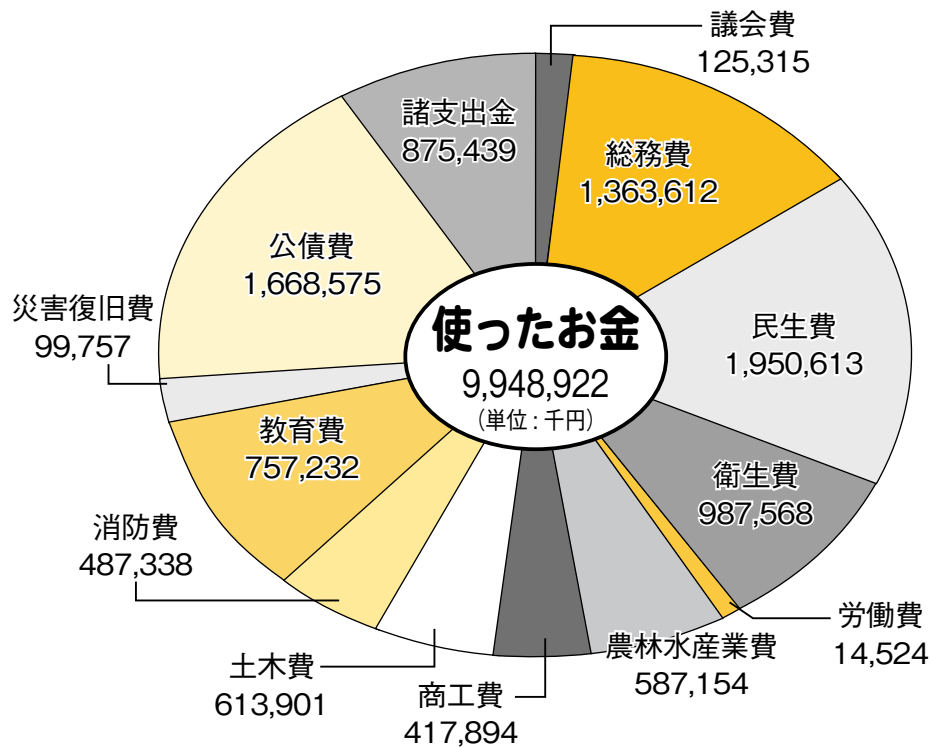
賛成 11
反対 4

第55回（平成24年9月）定例会が9月6日に招集され27日まで22日間の会期で開催しました。

町長から条例案6件、事件案2件、人事案1件、平成24年度補正予算案11件、平成23年度決算認定10件が提出されました。

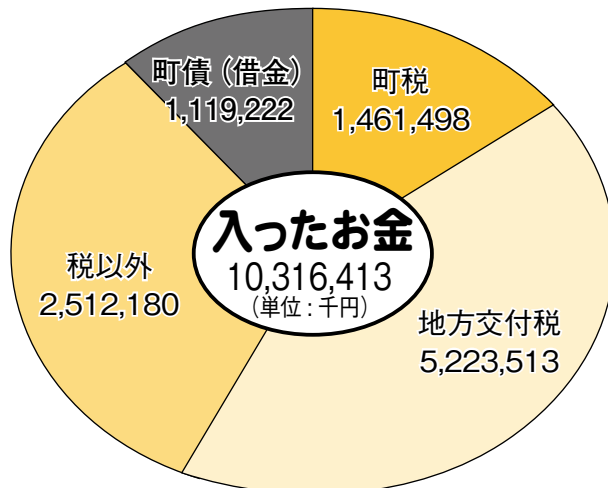
平成23年度決算認定は、決算特別委員会を設置し、議長を除く15名の委員で3日間審査しました。

一般質問は、6日・7日に行われ10名の議員が町政全般について質問しました。



(単位：千円)

区 分	金 額
歳入総額 (A)	10,316,413
歳出総額 (B)	9,948,922
歳入歳出差引 (A)-(B) (C)	367,491
翌年度に繰り越すべき財源 (D)	65,067
実質収支 (C)-(D) (E)	302,424
(E)のうち基金積立額 (F)	302,000
翌年度繰越金 (E)-(F)	424



平成24年度に繰越すべきお金
65,067 千円

基金積立金
(貯金をしたお金)
302,000 千円

町債未償還残高
(町の借金残)
13,937,181 千円

一般会計決算

23年度

一般会計決算認定 決算特別委員会

歳出の質疑

- 問** 電気自動車充電設備の使用数は。
- 答** 91件使用している。
- 問** 浜坂駅百周年記念後のイベントはないのか。
- 答** バスツアーを計画した。
- 問** ケーブルテレビの運営協議会は何回実施したか。
- 答** 1回開催している。
- 問** ケーブルテレビ停電に対する対応は。
- 答** バッテリーで2時間対応出来る。
- 問** 区長手当の考え方は。
- 答** 報償は均等割4万円、世帯割2,000円。区長と町内会長は同様な考え方である。
- 問** 電子計算費リリース事業委託は。

- 答** 長期契約5年である。
- 問** いなか体験の宿泊状況は。
- 答** 今年は海を中心に27名の生徒を受け入れた。
- 問** 婚活プロジェクトの方向は。
- 答** コウノトリ大使の意見を参考に方向性をだす。
- 問** 町民バス土日廃止について。
- 答** 町民タクシーを使用してもらう。
- 問** 警察跡地の管理は。
- 答** 23年度末町へ無償で譲り受ける。管理は草刈りをしている。
- 問** 建物・農地の課税について。
- 答** 現地を確認し適正課税に努める。
- 問** 統計調査が町づくりに生かされているか。
- 答** 各担当課へ連絡している。
- 問** 自殺データがあるか。

答 記録していない。

社会福祉

- 問** 各地区開催の敬老会補助金の使途は。
- 答** 地区の開催・運営にまかせている。
- 問** 社協の善意銀行の収支は。
- 答** 調べて報告をする。
- 問** 社協の年会費徴収の現状はどうしているのか。
- 答** 各地区に任せている。
- 問** 資源ごみ集団回収の効果进行分析しているか。
- 答** 分析評価したものを提出したい。

事業振興

- 問** 但馬杜氏組合の会員数、エリアは。
- 答** 美方郡内の人で構成され、会員数44名、「わが町25名、香美町19名」。
- 問** 杜氏組合の事務局は。

- 答** 事務局は美方郡広域事務組合内にある。
- 問** シルバー人材センターに登録している会員の作業中の怪我は、全額自己負担させられるケースがある。
- 答** 損害保険にも加入している。問題提起し対応を検討したい。
- 問** 花いっぱい運動と花と緑の事業は、選定

- 基準があるのか。**
- 答** 主な幹線道路沿い国道、県道、町道の主要なところである。
- 問** 花いっぱい運動と花と緑の事業を統一してはどうか。
- 答** 次年度に統一の方向で検討していきたい。
- 問** 二尾山の業務委託料は草刈りか。また、



花いっぱい運動推進事業での花壇（細田）

活用は十分できているのか。

問 二尾山の草刈りで全線、年一回行っている。利用状況は7農家・利用率は8割。

問 中山間地直接払いの31団体各団体の収支、事務のチェックはだれが行なうのか。

答 担当課長で行っている。

問 二尾山で町の土地借上げ料はいくらか。

答 10アール当たり2千円・19万7,774円である。

問 新規事業の定住促進は効果があったのか。

答 若者定住促進8件利用があり非常に好評だった。

問 但馬牛の増頭事業を続けているが牛は減少している。事業評価すべきだ。

答 景気低迷で子牛価格が低迷している。

問 シルバー人材登録

者の事故によるけがの保障について、労災制度があるはずで検討すべきだ。

答 運営委員会に提起し協議したい。

問 金融機関と商工会との協議の場があり、若者定住事業の若者という制限を外してもらいたいという声があった。検討を求める。

答 今後検討したい。

問 県の事業で「但馬牛繁殖経営支援センター」を2か所設置すると新聞報道があったがどこまで進んでいるか。

答 支援センターについては新聞報道以外の情報はない。

問 全国和牛能力共進会が5年ごとに開かれるが次・次回10年後兵庫県の開催を誘致すべきだ。

答 全共は各団体の協議も必要であり今後の課題である。

問 林業・水産振興

問 林道中辻・肥前畑線の年間維持費が大変かさんでいるが、全体をどのように考えているか。

答 通行は確保したい。作業道を整備していくためにも林道の維持は必要。

林業・水産振興

問 林道中辻・肥前畑線の年間維持費が大変かさんでいるが、全体をどのように考えているか。

答 通行は確保したい。作業道を整備していくためにも林道の維持は必要。

問 浜坂駅前の観光協会所有のアーケードの改良をどのように考えているか。

答 観光協会と協議している。

問 観光客への携帯電話充電の成果はどうか。

答 充電器は財産区が担当であり、現在は調査段階としている。

問 有害鳥獣駆除の免許取得助成の実態、駆除の成果は。

答 11名が取得、有害捕獲班確保に効果があった。

問 水産振興の予算は

少ないがその成果は。

答 ホテルイカ・松葉ガニのPR活動をしたが松葉ガニのタグを新しくした。

問 漁協事務所から遊覧船乗り場、サンビーチ周辺の全体を管理すべきである。工事内容は予算どおりか。ポードウォークの管理が不十分では。



新しくなった遊覧船乗り場周辺

問 植栽、草取り等は商工観光課の所管であり対応した。

地域活性化

問 プレミアム商品券は全体に還元されているか。

答 消費者と店舗の意見に食い違いがある。商工会と検討している。

一般会計決算



昨年浜坂東小で行われた防災訓練の様様

問 湯村温泉の活性化について、指導性を発揮し、関係団体と協議の場を大至急設定せよ。

答 湯村温泉の将来については、課題であると認識している。

問 我が町に観光協会が二つある。統一か、継続か、観光振興をどのように図るか。

答 二回協議している。

問 高規格道路、我が町にとって効果あるのか。

答 緊急医療、災害対策、交流人口の拡大、産業の活性化、観光振興等のメリットがある。

問 防災訓練、津波対策24年度の実施計画は。

答 10月28日町全域で訓練を計画、津波対策の実施訓練を予定している。

いる。避難場所は7集落と話し合っている。

学校教育

問 中学校のパソコンリース料200万円増えた理由は。

答 23年度に新機種を導入した。

問 各学校に図書館司書を配置してはどうか。

答 子供、教員のためには積極的に取組みたいが予算的にむずかしい。

問 給食センターの非常時対応マニュアルを作成すべきである。

答 法的定めを順守している。マニュアル作成は検討中である。

問 給食センター車検代の内容は。

答 軽自動車1台給食車2台分である。

問 給食センター食材の地元業者の利用率は。

答 平成23年度浜坂給食センターは42.3%、

温泉給食センター33.8%である。

財産に関する調書

問 新温泉町全体で軽自動車は何台か。

答 リース21台を含め54台である。財産調書は、軽貨物は別である。

問 土地、消防格納庫については。

答 旧温泉は消防車庫の中に含まれている

が、町土地は210㎡。

問 財産調書の整理(表示方法)すべきではないか。

答 浜坂地域と同様に分けて表示していく。

問 3億200万円基金繰入は。

答 予算を通さず直接基金に入れている。次年度決算に出てくる。事業については予定どおり執行している。



どうする湯村温泉の活性化



小学校跡地活用を（八田小学校）

問 財産の売却は。

答 計画していたものは応募者はなかった。法定外等、450万円の土地売却である。

問 空いた場所の有効利用は。

答 土地貸付により480万円の収入があった。

問 奥八田・八田小学

校などの有効利用はどうか。

答 春来本校舎：解体の方向。防火用水との話があるが、現状では無理。

熊谷：防火水槽1基をつくった。その他の建物は撤去。

八田：防災関係で調整中。

奥八田：宿泊施設にとの要望があるが、耐震基準を満たしていない。協議中である。

問 全国各地で太陽光発電で企業参入が増えている。

答 期待に添っていくことは大変よいことだが、なかなかこちらの思いとはかけ離れていることが多い。

問 エネルギアの地産地消が叫ばれているが公募また、参入者へ要件を緩和すればよいのではないか。

答 他の自治体の取り組みも研究し対応する。

問 病院医師住宅を利用しているか。利用なければ売却してどうか。

答 住宅は1戸建て住宅は1棟使用している。集合住宅は満室である。売却は考えていない。

歳入の質疑

問 税収状況は（町税）。

答 前年比0.6%減額。固定資産税も減少している。

問 町税の再振替についてはどうか。

答 再振替にしている。

問 22～23年度財政状況がよかったのか。

答 2年連続の特別交付税の増と経費節減を図った結果、剰余金が発生した。

問 不安定な財政運営をしてはならない。

答 長期的な視点に立ち財政運営をするため基金造成を図っている。

問 18億円まで基金積立てることだが。

答 持続的なまちづくりのためには造成が必要である。

問 温泉高校の跡地は現在どうなっているのか。

答 財団法人よりオファーがあるが確定ではない。相手方の考えもある。使用料は月20万円である。

問 学校給食費の未納は。

答 再振替はしていない、通知書を送付している。両センター一件ずつ未納者がある。

問 水道料金の未納は。

答 再振替し、出来ない場合は個人に納付書送付する。

総括質疑

問 広域ゴミ処理施設は住民合意か。

答 合意形成は必要であり、大枠で合意があれば執行する。

問 物品の適正な管理は。

答 物品台帳で管理している。

問 軽自動車も計上し

一般会計決算

特別会計決算



七釜温泉配湯している「ゆ〜らく館」

23年度 特別会計歳入歳出決算額

(単位: 千円)

会 計 名	歳 入	歳 出
国民健康保険事業 (事業勘定)	1,880,430	1,843,610
国民健康保険事業 (照診施設勘定)	41,258	41,257
国民健康保険事業 (八診施設勘定)	46,589	46,589
国民健康保険事業 (歯科施設勘定)	62,932	62,931
後期高齢者医療	185,327	183,652
介護保険事業	1,431,945	1,429,633
浜坂地区残土処分場事業	46,825	37,609
温泉地区残土処分場事業	19,395	16,227
コミュニティ・プラント事業	101,469	100,469
簡易水道事業	58,359	55,872
七釜温泉配湯事業	11,118	9,180
下水道事業	936,744	932,457
合 計	4,822,391	4,759,486

特別会計(9会計)は全員賛成で認定されました。

では。
問 物品台帳にはあげていないが適正な処理を行っている。
答 空家物件が増えていて、対応は。空家の倒壊問題が

クローズアップされている。今後検討する。
問 ゴミ分別2品目増、1ヵ月間猶予をもって行うべき。
答 12月いっぱい試行期間としたい。

反対討論

谷口功議員

バブル経済の崩壊以来、地方は不況が続いている。地方自治体は合併押し付けと地方交付税の縮減、行き過ぎた行政改革などで住民サービスの低下を余儀なくされている。住民は、商売が続けられない、仕事が無い、

若者の勤め口が無い、国保や医療費が払えないなど、悲痛な叫び声が寄せられている。しかし、基金残高は24年度末に14億円を超過する予定であり、住民の切実な要望に一定の対応ができるはずである。

循環型社会形成推進法に反し、土地を強制的に取り上げて、大型のごみ焼却施設建設を推進している。岡本町長の所信表明は「みんなの・みんなによる・みんなのための政治」を旗印にすることを掲げている。その理念に照らしてみれば23年度決算認定は認められないものである。

問 県道(三尾浜坂線)整備を県土木へ要望すること

町長 県土木へ要望活動を強めたい



中村 経逸 議員

問 県道三尾浜坂線と赤崎久谷停車場線の整備を県土木へ強く要望すること。

町長 要望活動を強めたい。

問 2路線の関係地区はジオパーク中心地だ。専門家では三尾海岸を一望すればジオパークを一口で説明できるが団体客の見学希望があっても大型バスの乗り入れができない。

町長 御指摘のとおりだ。2路線の拡幅が待たれる。要望活動を今後とも強めていきたい。

問 ジオパーク認証後、2県道整備の考え



未整備がある県道三尾浜坂線（清富～田井間）



未整備がある県道赤崎久谷停車場線

は変わっているか。

町長 幅員狭小県道は町内かなりある。認証後は従前と異なり必要性は一層強まっている。

問 2路線は、最近用地買収せず道路敷地内の待避所が一部設置されたが未整備が多い。ジオパーク関連道路で整備すること。整備にあたっては、主要

道路からの進入先から整備するべきだ。つまり清富～田井間と国道178号～赤崎まで

町長 整備後は引きつづき三尾までを整備するよう強く求めよ。

町長 県道は土木の判断である。2路線拡幅は観光面でも重要視して要請活動を展開したい。

問 用地買収なしの整備だから部分拡幅でなく全線拡幅を求めること。

町長 法面おこしの部分改修で全体を結んでいく考えではないか。

温泉高校跡地の配線ケーブル盗難事件

問 7月19日受電室か

らの盗難事件約120m20万円相当が盗まれ7月28日にマンホールから地下の配線ケーブルで約620m140万円相当が盗まれた。管理上問題はなかったか。

町長 防犯センサーが稼働しないようにして窃取している。2回めは発光センサー発注中にマンホールからの窃取であり、マンホールには、ふたを溶接した。**問** センサーを取りつけ町はどうして把握するか。

町長 単純センサーで人が通ったら発光し威嚇用である。敷地全面的防御は大変な費用がかかり不可能である。

問 被害額は取り戻すことができるか。

町長 保険により、一定の相当部分の補填ができると思っている。

一般質問

問

定例会後の町の対応について

町長 会議等もつてルール化を検討

問 年4回の定例会は一般質問等で、各議員より随分たくさんの方の見提案があるが、定例会終了後、管理職会議などで具体的対策を検討する会議を開催しているのか。

町長 質問を受けて、すぐやれと言うような適宜適切に示しているが、課長会などルール化を試みたい。

地域連携のあり方は

問 定住自立圏構想が



西脇 明 議員

発表されて、中心の市と周辺町村が連携するシステムで、わが町は鳥取市と協定を結んだが、豊岡市とはどうなっているか。

町長 すでに3市1町と協定され、わが町は12月議会に提案したいと考えている。

問 いずれにしても、都市と農村の格差は開き、いま大事なことは近隣の市や町と連携を硬化することで、特に観光面においてはもっと強化すべきである。

町長 連携の必要性は申すまでもないが、防災・医療・雇用・婚活など役場の各課が連携強化することも多くあり、各種団体との強化も図りたい。

河川環境の点検は

問 河川の問題は再三取り上げてきた。先般春來川で200匹魚が死んだ、味原川で50匹死んだ、町にとって大変な不名誉な出来事である。河川環境について時系列に調査研究しているのか。

町長 春來川の原因は特定できていないが、味原川がユートピアの塩素消毒が原因とのこと、軽率な事案に反省している。毎年水質検査は実施しているが魚の生息など幅広く調査は出来ていない。

問 川は町の財産である。天然アユの遡上する名川100選に選ばれている。農薬等含めて町民一丸となって川を守る取り組みをすべきである。

町長 町民挙げて水質を保全し、生態系の維持と環境保全に努めた

地籍調査の推進を

問 現在わが町の地籍調査は、このままだと100年以上かかると聞いていたが、実態はどうか。

町長 今回のペースで170年かかると認識している。

問 国の手厚い予算で、町の負担は実質事業費の5%であり、もっと予算をつけて、未登記物件の処理も含めて強力に推進すべき

い。

である。

町長 指摘はわかるが、職員配置体制もあり、又業務委託等検討を要する。

川下祭りの評価を

問 但馬三大祭りの川下祭りは大変な賑わいで近隣市町村からも評価が高かった。助成金を含めて事業評価してみてもどうか。

町長 何万人来たのか、経済効果等含めて次年度に向けて対応したい。



但馬三大祭りの川下祭花火

問 通学路の安全対策は

町長 継続性を持って対応



小林 一義 議員

問 防災・減災ニユードイル政策は、壊れてから直すのではなく、前もって直すことで、圧倒的なコストの削減になる。わが町の防災減災施策の計画と取り組みは。

町長 計画は出来ていない。橋とか調査は着手している。

問 道路・公共施設の調査はどうか。

町長 耐震は済んでいるが、他は調査中である。

問 すべての小学校の通学路総点検の結果と対応を伺う。

町長 PTAとの協議で話し合ってきた。問題点はあったか。

教育長 問題点があり、整理して改善をしていきたい。

問 歩道の整備がされていない。西小の鉄橋の下、南小の登下校はどう対応するのか。

教育長 保護者、地域の皆様のご協力で安全通学に取り組んでいる。

課長 南小は浜坂道路完成まで警備員を配置し安全を図っている。

問 他四校の安全対策はどうか。

町長 冬季の通学の困難な所は整備している。

問 通学路の安全対策は継続的に実施すべきである。

町長 協議・調整を行い、継続性を持って対応して行きたい。

介護保険について

問 高齢者が安心して暮らし続けることが出



▲警備員が配置されている通学路
(浜坂南小学校)

歩道整備がなされていない通学路▶
(浜坂西小学校)



来る体制づくりが急務である。

町長 介護予防のため、講座を開いてきめ細かに対応している。

問 24時間対応のサービス、訪問看護の充実、活用が急がれる。

町長 事業量が増え、拡大は無理であります。

問 「見守り隊」をつくり地域力を活用すべきだ。

町長 地域と行政が共同して対応していく。

問 認知症対策として家族の負担軽減のために、地域ネットワークづくりを行うべきだ。

町長 老人会や社協中心に取り組んでいる。

発達障がい児対策は

問 ひとり一人の学習状況を適切に判断し、指導計画を作成する。計画・実践・評価・改善のサイクルを発揮させることだ。

教育長 指導委員会を開催して対応している。

問 疑いのある児童に対しての対応は。

教育長 スクール・アシスタントを配置し計画も含め行っている。

問 アシスタントは不足していないか。

教育長 各校に一人は配置している。

問 障がいのある子もない子も、共に支え合い一緒に学ぶことが教育では大切である。

教育長 人間関係をつくること、お互いの交流を重視して行きたい。

一般質問

問

町の活性化のために課の名称を変えたら

町長 今後の着眼点の一つだ



西村 敏弘 議員

問 島根県海士町へ研修に行った。課の名前に特徴があった。NP
○法人特命担当、交流促進課、地産地商課（商売の商）、産業創出課、ふるさと海士特命担当。課の名前をわかりやすくすることによって、活性化のきっかけにするのはどうか。

町長 横断的な要素もあり今後の着眼点の一つだと思っている。

問 海士町の資料に、地域活性化の要件の一つとして、若者、よそ

者。ばか者がいれば地域は動く。動けば変わるというのが、載っていた。私は原点に返った意味でおもしろい文章だと思う。

町長 必ずしもばか者がいたり、若者がいたり、趣旨はわかるが、町を動かす、あるいは大きな変革に向けて、異なる条件の中でそれぞれの町が進むという上においては、客観的な条件、主条件的な条件があるだろうと思っている。

意識改革

問 トップの改革に対する意識が変われば、職員が、職員が変われば役場が、役場が変われば住民が、住民が変われば

われは地域が変わると
いう、意識のもとに、
海士町は動いている。

町長 意識改革は非常に難しいと思う。全職員が一つの目標に向かって対峙していく気が必要であるとの認識に変わりはない。

問 海士町で陳情、あるいは提案する。その答弁で、「お金がないからできません」「そういう話は前例がないからできません」「その意見に関しては何の意見もないからできません」「だからあなたの言うことはできない」という決めつけは、禁止しており町全体の禁句としていえるようだ。

町長
金がない、例が

ない、制度がない、との対応になりがちだが、やるべきことはやるべき、お金がなければ知恵を出せと。当たり前

問 田辺副町長も同行



意識改革について意見を交換する（海士町）

したが、所見は。

副町長 交流人をふやし、若い人たちに集まってもらうことも必要であるし、学力を高め、ていくことも大切だ。島全体が観光施設で、そこへ来た人にお金を落としてもらえる仕組みも自然に発想されて

きたのではないか。

新温泉町には、農林水産、工業、商店等いろいろ。何に絞るかは難しいが、一つの方向性をみんなで検討していくことが一番大事なことから思う研修であつた。

問 浜坂温泉で150ℓ放流されている湯の有効活用を

町長 より一層効果的な使用にこたえていきたい



谷田 一富 議員

問 新聞に毎分150ℓの温泉を放流されている記事が出ていたが事実か。

町長 そのとおりである。

問 現在毎分400ℓ年間有収水量は8万920ℓで一世帯当たりの年間使用量は4万ℓであり700世帯でも3万3600ℓで、十分余裕がある。30年経って加入者がどんどん減っている状況はまさにじり貧状態になっている。過去の質問で新温泉町の魅力に対し、温泉配湯だと答えている。エコの町を目指すこのときに、新しい施

策を考えるべきだと思うが。

町長 日本温泉研究所に調査依頼をして、今放流している150ℓの有効な使い方がどのようなものがあるのか調査したい。

問 30年過ぎて、耐用年数も過ぎた頃でもあり、また経済の低迷を考えると新規加入も難しい。加入条件を緩和して加入促進をしてはどうか。

町長 一定の料金、加入金であったりした中で、対応が許されるとしたなら、どのような条件が必要なのか検討していきたく。

町営の塾を

問 先日隠岐島の海士町の視察の中でまちづくりの原点は隠岐島前高校にあるのだと思う。半分は全国から集まっ

てきている。そのことがターンとして300人に繋がり、また3人の先生による町営塾を実施し、その結果3割以上の生徒が国公立に入学している。我が町も年々生徒が減少している現在、美方郡で高校は1校でというときの為にも町営塾をしてはどうか。

町長 出生率の低さ、高校の存続、維持に対して将来、大変危惧

している。その中で高校の魅力づくりに何が必要なのか、地域教育に強い関わりをもつ大切な時期だと考えている。

問 高校の連携校枠が6%から25%という提案がなされている。今後流失は益々増えていくことが予想出来るが、流入は地理的にいってもあまり期待できないではないか。魅力の一つの方法として

どうか。

町長 町営塾については御提言として受け止め、また行政としても魅力づくりに力いっばいの対応していきたい。

PRソングを復活してはどうか

問 海士町の旅館で地域の踊りで歓迎をして頂いた。我が町にも素晴らしい歌と踊りがある。運動会のフィナーレには親子で踊り、また商店では浜坂のPRソングを流していた時期があった。歌、踊りは最高のPRになると思っています。是非復活して頂きたい。

町長 両地域に素晴らしい歌があり、復活というより皆さんが思うように使って頂いたらと思っています。原盤は企画課の方で保管している。



温泉配湯している浜坂第3泉源

問

高齢者・障がい者の外出や移動支援の改善を

町長 外出・移動支援制度を改善する



中井 次郎 議員

問 高齢者や障がい者の皆さんが、生き生きと暮らしておられる姿を見るとホッとします。この方たちが病院や福祉施設などを利用する時、その移動を手助けするのが外出支援制度である。現在の当町の制度では、利用できる範囲は美方郡内と岩美町となっている。これでは豊岡や鳥取市の病院・福祉施設を使用する時には、この制度を

利用できない。現制度は町民の要望に合っていない。移動支援制度は障がい者の皆さんが買物などで利用するが、ヘルパーさんが付き添い、歩いてスーパーなどでの買い物ができるようにする制度である。この制度の利用状況を見ると、雨や雪が降る中、歩いて店まで通う、その姿を見ると改善が必要ではないかと感じる。

町長 外出支援は鳥取市内や豊岡市内まで利用できるように検討する。移動支援については、積雪冬季間の交通事情を考え、検討する。

機構改革

問 健康課と福祉課とを一つの課に統合、ゆめっこランドや認定こども園を福祉課から教育委員会の所管に移し、これにより職員が積極的に町民サービスを展開していくように



4月より福祉課から教育委員会へ所管換えとなる子育て支援センター

なるであろうか。これまでから幼・小・中一貫教育ということが言われてきた。

町長 2つの課が1つになることにより、専門知識を生かしたサービスができるようになります。幼児・小学校・中学校と一貫性を持たすことによりそれぞれ

の連携がとりやすくなります。

岸田川駅伝コースの見直しを

問 旧町の連帯を深めることを目的として駅伝は実施している。今年が3回目となる。参加者の中からは「コースを変えてほしい」という意見や、無理をしなくても浜坂地域は麒麟獅子マラソン、温泉は駅伝で良いのではというものである。今回のコースは堤防敷きを走るので危険である。これでは駅伝そのものの参加者が減ってしまうのではないかと予想される。次回からのコースの見直しを求めます。

町長 今年の参加者の意見を聞き、その内容を参考に今後の方針を決めていきたい。

問 過疎の町に活力を

町長 補助事業で対応したい



植田 光隆 議員

温泉地域の小学校再編後の跡地活用について

問 春来・熊谷について

は2年半、八田・奥八田は半年が経過した各校区から跡地活用について要望が出ていると思う、過疎化を少しでも止めるためにも、有利な過疎債等を活用し要望に応えるべきと思うが。

町長 熊谷については地元の要望のとおり、対応した。春来は校舎も古く解体撤去を考えている。又防火水槽は冬期間、消防車両が入れる場所をお願いして

いる。奥八田については地元調整の中で対応したい。

企画課長 春来については、体育館と一階の教室で生涯学習の授業はできると思う。奥八田については、ふるさと自立計画推進モデル事業を取り入れたいと思っている。

町道改良の進捗状況は

問 二日市・古市線等

今年も半年経過した。全体では、約4億円予算化されていた、もうすぐ冬が来る、早く建設業者に発注出来ないのか。

町長 昨年の災害復旧工事、又今年春、照小グラウンドが融雪による災害が発生した。限られたマンパワーの中で対応しているが、やや発注が遅れた。

建設課長 基本的には災害復旧を優先して、進めている。

新規就農支援事業について

問 後継者の確保事業

として新規メニューである。現時点、何人申請者があったのか。又人・農地プランの作成事業はどの程度進んでいるか何う。

町長 予定説明会では6名参加されていたが、人・農地プランに位置づけが基本となり、現段階では一人です。

農林課長 来年以降、

家族の中での経営移行という部分が増えてくると思う。普及センターと引続き行なっていく。



望まれる奥八田小学校跡地活用

小動物による被害が増えた。対策を

問 最近小動物が増え

電気柵の下から侵入し畑作農家は苦慮している。外来種については捕獲出来るが、アナグマ、タヌキ等について

も捕獲許可を県に申請すべきと思うが。

農林課長 特定外来種

以外の小動物でも被害状況によって、県・町に分けて捕獲許可ができる。被害状況を町へ報告願いたい。

問

障がい者対策について

町長 十分ではないと認識している

地域での健康づくり

問 体に障がいをお持ちの高齢者が見受けられる対策の考えは。

町長 福祉課を中心に施策展開している。健康講座、相談業務を行い対応している。

問 障がいをお持ちの方々にはどのような事業の展開をしているのか。

町長 各事業所での交流作業を通して健康づ



西村 公子 議員

くり努めていただいているが十分ではないと認識している。

ひとり暮らしの方々の日常生活用具給付は

問 防災対策への心配な面を持っておられると聞く。

町長 高齢者の方々の日常生活用具給付事業は条件がある。かなり制限がありハードルが高い。

問 体に障がいをお持ちの方々への対策は。

町長 器具を設置するのは基本的には個人であるという認識だ。

問 行政の責務だと思う。

町長 時代の状況にも合う改正の必要があれば検討したい。

ナイトケアサービス

問 ショートステイが利用出来ない場合にデイサービス事業者、託老所において夜間利用出来る事業であると聞く。

町長 我が町では民間事業者「絆」で取り組んでいることは聞く。

問 香美町では取り組みに希望者が多いと聞く。



健康講座、相談業務をしている福祉課

町長 町の支援がなく自己負担である。

問 香美町では本人負担は当然であるが町も予算計上されていると聞く。

町長 町としては対応する考えはない。

障がい者グループホーム立ち上げの考えは

問 新温泉町は香美町より取り組みが遅れているのでは。

町長 民間事業者の参入を期待したい。これからの課題だ。

問 民間参入であれば援助はするのか。

町長 町は事業主体として取り組むことは考えていない。

美方郡への特別支援学校設置の進展は

問 以前報告があったがその後の進展は。

教育長 連合会議3回開催。形としては分校になると思う。県教委担当者、県教育長へも話をしている。井戸知事より一定の答がある。と確信している。

問 長い間何らお話しがなかった。25年度中に施策に盛り込まれて方向性が出るのか。

教育長 予算化して2、3年とはかかると思う。香美町と新温泉町は気持を一つにしている。

問 水で町に活力を

町長 申し出があれば検討する



西村 銀三 議員

問 旧温泉地区の水源地である花口の水温は10.5度と大変冷たく、その味は日本一おいしい水である。また、集落を調べてみると、湧き水が最も多いのが青下集落であり、「イツ」とよばれた湧き水は現在も残っており、一部は利用されている。上山を越え鳥取県境から湧き出る水の温度は7度で、手が凍るようであった。周辺には、霧滝など多くの滝もある。その滝へ通じる遊歩道整備。そして山岳ガイドの養成。また湧水を利用したワサビの

生産と利用。飲んでおいしい水。イワナなど魚の養殖も行われている。新たな観光資源として、水をベースにしたまちづくりを考えてはどうか。まずは、青下地区を中心に「日本

一おいしい水の町」一村一品運動を進めてはどうか。

町長 村の人たちからの要請があれば検討しても良いのだが、と考えている。



水で町の活性化を（霧ヶ滝渓谷）

高齢化する村に集落支援隊を

問 合併後特に温泉地域とりわけ八田地区の高齢化が著しい。13集落の内9集落が高齢化率40%を超えており、その内さらに6集落が50%を超えている。区

長だけでは大変であり、担当職員を定期的に集落に派遣するなど集落支援隊を作っては。

町長 いろいろな方々の総合的協力を得てトータルにやっていきたい。

土日、祝祭日も窓口業務を

問 保育園を教育委員会に所属させるなど組織改革を行っているが、土日、祝祭日の窓口営業を行うなど、住

民サービスに直結するような見直しこそが本来の組織の改革ではないのか。

町長 休日に職員をそのような業務に当らせることはできない。

林道整備より集落の生活道路を優先すべし

問 中辻肥前畑線はほとんど車も通らなく、道路は大雨でボロボロであり、かつ毎年何千万円もの補修費をつつこんでいる。そのようなことは止めて、救急車・消防車などが入れるよう集落の生活道路の整備を優先すべきだ。

町長 これまで以上に道路整備には現実的対応を強化してきた。可能な限り計画的に対応したい。

一般質問

問

悪政から町民の暮らし・営業を守ろう

町長 できる対応をはかる



谷口 功 議員

問 税と社会保障一体

改革法案が成立したが消費税10%への増税は「商売が続けられない、生活の見通しがたない」などの声があげられている。町民生活にどのように影響すると考えるか。

町長 介護、医療で世帯単位の所得に応じた自己負担「総合合算制」の導入、さらに「高度急性期」の入院期間を短縮していくというよううなことが図られる。

問 保育新システムで

保育の「質」が維持されるか、また国民の権利としての生活保護制度が守られるか。

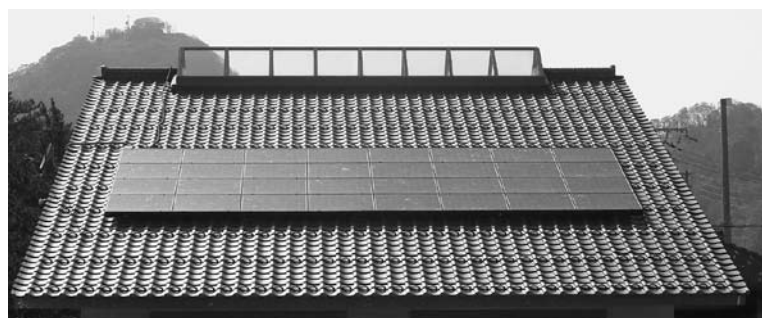
町長 保育のその責任は町にある。全ての人に基本的生存権がある。

産業活性化・若者定住は

問 産業活性化・若者定住の促進に力を注いできたがその成果は。

町長 枠を広げた住宅取得事業は昨年を上回る9件、太陽光パネル設置は予算を倍増し、17件、約13倍の事業効果を上げています。

問 住民・事業者に使いやすい住宅リフォーム制度や予算の増額、事業の周知徹底等を検



住民・事業者に使いやすい住宅リフォーム制度を

討すべきだ。

町長 今後も継続して取り組む。

問 地域の産業活性化を図るため地域内の歴史・文化・知恵と力を結集する中小企業振興条例を制定することを検討してはどうか。

町長 少し時間を頂き

たい。

問 漁業では、水揚げ・魚価の低迷で困難が続いている。

国・県による主要魚種の生態系など抜本的な調査研究と経営補助を求めるべきだ。

町長 機会あるたびに要請を続けている。

問 全産業の中で、建設業の落ち込みが極端に進んでいる。民主的な建設業の発展に行政の先導が大事ではないか。

町長 公共インフラの整備もまだ不十分であり、除雪や、一旦緩急あるときのよりどころは建設業であり、町の

なかに健全な一つの企業集団が存在することは極めて重要なこと。

ごみ広域・焼却はやめよう

問 新温泉町一般廃棄物処理基本計画書が配付をされ基準年から平成38年で5千人、約3割人口が減るのでごみも減る。今後およそ20年、広域の大型処理施設でごみを燃やし続けることが再定義された。住民は生ゴミ・木・紙類、下水道汚泥まで焼却することを直してもらいたいと願っている。

町長 今の焼却処理とすることが安定的で一番安全な方法である。環境負荷については配慮する必要がある。熱エネルギー回収施設として広域事業を進めている。

行政組織条例可決

昨年12月否決した

行政組織条例一部改正

【理由】

財政状況及び定員適正化、住民の利便性向上に資するため。

【主な内容】

- ① 総務課所管の「人権推進室」を教育委員会に所管換え
 - ② 企画課所管の「ケーブルテレビ事業室」を支所に所管換え
 - ③ 「健康福祉課」の設置（健康課・福祉課の統合）
 - ④ 健康課所管の「年金業務」を町民課に所管換え
 - ⑤ 福祉課所管の「保育所」を教育委員会に所管換え
- すでに、24年4月1日から係の統合や名称変更、町連合PTAや子ども会補助金等を社会教育課へ変更している。

【質疑】

- 問** この改正の5年で3億8千万円の人件費の削減の根拠は。
- 答** 機構改革の主な視点は職員数の削減・適正化であり、推計で3億8千万である。
- 問** 類似団体の目標数値はどうなっているか。
- 答** 合併時の目標278人合併から10年後の計画値である。
- 問** 行革は行政執行上の無駄を省いて住民サービスの充実を図ることが前提である。
- 答** 組織改革は住民サービスの向上のためである。
- 問** 健康課・福祉課を統合するという大きな変更によって住民サービスの变化するののか。
- 答** 一つになれば健康・福祉課の連携がスムーズに強まりよくなる。
- 問** 退職者不補充の原則で職員定数管理しているが、行政業務が維持されるのか。
- 答** 5年計画の定数管理であり、適切な採用にも努めたい。
- 問** 各課の業務量を正確に把握し、要・不要の整理が必要ではないか。
- 答** 大事な視点であり、精査をして新しい事業を取り入れられるようにしたい。
- 問** 機構改革で職員の昇給昇格が遅れないか。
- 答** 職務職階は能力主



完成間近の居組防災多目的広場

義で行い、モチベーションが下がるようなこととはない。

【その他条例制定・改正】

- 町民センター条例等の一部改正
- 税条例の一部改正
- 使用料徴収条例の一部改正
- 居組防災多目的広場条例の制定
- 防災会議条例及び災害対策本部条例の一部改正

反対討論

中井次郎議員

現在の新温泉町の職員配置についてみてみると、温泉総合支所においては振興課長が病気療養中である。ユートピア浜坂も人材の配置ができず、館長は福祉課長兼務になつている。これ以上の職員の削減は、あらゆる施策の遂行の妨げになる。

財政は財政調整基金に14億円積みあがつている。この額は昨年12月に公表された収支見通しを上回る金額である。

新温泉町における「行革」は効率化の名のもとに、職員を減らし、今以上に基金をため込むことが目的化されている。その結果、職員の気力低下、住民サービスの低下となる。これ以上の職員削減は止めるべきだ。

補正予算

一般会計補正予算

1億1,400万円の補正予算可決

会 計 名	補正額	補正後予算額
一 般 会 計	1 億 1411 万円	103 億 7334 万円
特別会計・企業会計		
国民健康保険事業（事業勘定）	2467 万円	19 億 6534 万円
国民健康保険事業（歯科診療施設勘定）	63 万円	6729 万円
後期高齢者医療	167 万円	2 億 468 万円
介護保険事業	231 万円	15 億 692 万円
浜坂地区残土処分場事業	922 万円	8917 万円
温泉地区残土処分場事業	317 万円	2087 万円
コミュニティ・プラント事業	50 万円	1 億 91 万円
簡易水道事業	249 万円	6563 万円
七釜温泉配湯事業	194 万円	933 万円
下水道事業	162 万円	8 億 9659 万円
水道事業会計	30 万円	6 億 5537 万円

平成24年度一般会計補正予算、その他特別会計等10会計補正予算が提案され、いずれも可決されました。

質疑

- 問** ごみ（発泡スチロール）は各家庭から出たものは処分対象とする。業者から出たものはどうするのか。
- 答** 業者から出る発泡スチロールは結論は出ていない。検討中である。
- 問** ごみの分別は。
- 答** 現在13品目であるが、10月からは15品目になる。
- 問** 現在のリサイクルセンターをストックヤードにとの声がある。
- 答** 不可能である。
- 問** 香美町は油でとかしリサイクルしていると聞く。
- 答** 新温泉町にあった処理をしていく。
- 問** 婚活についてはどのように対応していくのか。
- 答** 今年度2回の事業を考えている。
- 問** 但馬空港の助成金



ストックヤードに不可能の久谷リサイクルセンター

- 2千円アップの根拠は。
- 答** 他の利用料金との均衡を図り、負担軽減をする。
- 問** 町歌ができたとのことだが2曲にするのはなぜか。
- 答** 歌と踊りで2曲である。
- 問** まち歩き案内所の壁の色はなぜ黒なのか。町の景観形成として色彩は大切だ、駅前アーケードの見直しを考えるべきだ。
- 答** 検討していく。
- 問** 温泉橋の色のぬりかえすることも大切、景観を考えること。
- 答** 現場を見て対応する。

反対討論

谷口 功議員

この補正予算で提案されている大部分は認めるものである。財政調整基金残高が当局の見通しから6億上回り、24年度末には14億円を超過見通しである。

この春から後期高齢者医療保険、介護保険や国保税の大幅引き上げや医療費等の負担が大変大きくなっている。依然として雇用情勢は厳しく、「収入が減った、年金も減らされた」などの声があがっている。また、町内大手旅館の経営権の委譲や建設業者の廃業なども出ており、町内経済状況は厳しさが増している。

したがって、将来に向けて財政調整基金を積み上げるばかりでなく、その一部を暮らしや経営の応援に充てることを求めて反対討論とする。

総務教育常任委員会

8月7日開会
9月13日開会



ソーラーパネルを設置する浜坂給食センター

学校教育課

照来小学校災害復旧工事請負契約の締結についてを了承した。

浜坂学校給食センター太陽光発電設備設置事業について

問 工事の進捗状況は。
答 太陽光パネルのメーカーから出来上がるのは11月、その後設置し、2月末には完成予定である。

いじめ問題

問 小中学校にいじめはないか。

答 小学校1件、教員全体で対応解決した。中学校1件、部活内問題、関係保護者で集まり9月始業式までに解決した。

税務課

新温泉町税条例の一部改正

企画課

町花・町木・町鳥・町民憲章制定について

問 さくら、くろまつ、うぐいす特徴、象徴（シンボライズ）的でない。旧町のシンボル「ササユリ」「イワツバメ」等を引継ぐよう再考すべきである。

また、議員全

員協議会に説明し理解求めるよう要望する。

問 委員会結論を経て決定したい。修正はできるが24年度中に決定したい。

新温泉町使用料徴収条例の一部改正

新温泉町居組防災多目的広場条例の制定

総務課

健全化判断比率及び資金不足比率
内容 平成23年度決算に基づく各種比率

新温泉町行政組織条例の一部改正

問 人件費削減効果は。
答 5年間累計3億8千万円の見込である。

新温泉町民センター条例等の一部改正（新温泉町暴力団排除条例の施行に伴う改正）

産業建設常任委員会

8月7日開会
9月11日開会
9月25日開会

商工観光課

配線ケーブルの盗難について

問 防犯カメラの設置は。

答 センサーライトの設置を考える。

まち歩き案内所施設の管理運営について

問 公募は。
答 全但バスから申請があった。

問 選定委員会を2日間したと聞くが。

答 基準価格を超過していたため、当面は直営をし、将来は指定団体を立ち上げる。

問 補正による対応は出来なかったのか。

答 平成25年度は平成24年度中に意見を聞きながら対応していく。

杜氏組合記念碑

問 経過報告を求めたい。

答 杜氏組合より薬師湯へ記念碑の建立の要望書の提出があった。

問 杜氏の町への貢献は大きいものがある、助成は。

答 金銭的要望は聞いてない。

委員会報告

問 道の駅の進捗状況は。

答 県土木と協議。並行して地元とも調整を行う。

牧場公園課

子ども但馬牛講座の開設。

農林水産課

問 地籍調査に主力を置き事業の推進を。
答 検討時間が欲しい。

建設課

問 国道178号の管理経費不要なら県に管理を。
答 県は道路網の見直しの中で県と町で管理。移管を受けないで整理するべきでは。

問 引き受けない訳にはいかない。
答 町道二日市古市線（第3工区）道路改良工事請負契約の締結について

契約金額
215,250,000円

環境福祉常任委員会

9月10日開会

上下水道課

1、下水道接続率と促進状況。

2、下水道経営状況。

問 ユートピアの排水により魚が大量死、その対応は。

答 浴槽内の湯は浄化槽を通さないでの放出は適法だが、今後事故がないように心がける。

問 町のイメージダウンだ。

答 公の施設にふさわしい対応を行う。

町民課

1、町の人口統計。

2、ごみの受入状況と分別の変更。

3、町総合防災訓練及びシンポジウムの実施。

4、町の契約



排水が指摘されたユートピア浜坂

等から暴力団排除に関する要綱の制定。

問 プラスチックごみの分別は。

答 周知期間を持つて対応する。

問 発泡スチロールの持込は。

答 協議中であり良い方法を見い出していく。

1、町の防災会議条例・災害対策本部条例の一部改正について。

健康課

1、24年度国保医療給付費の状況。

2、23年度ドクターカー出動状況と町の負担金見直し。

3、ポリオワクチンの接種見直し。

福祉課

1、介護保険事業給付及び認定状況。

2、外出支援事業と福祉タクシー利用状況。

3、「特養ゆむら」の裁判経過。

公立浜坂病院

1、病院の利用状況推移。

2、病院改革プラン評価。

3、損害賠償等請求事件の経過。

各課の24年度一般会計・特別会計の補正も協議・審査致しました。

委員会研修報告

総務教育・産業建設 常任委員会

合同視察研修

研修日程

7月17日～18日

研修先

島根県隠岐郡海士町
テーマ 地域資源を生かしたまちづくり。
産業振興と交流促進・若者定住人口の増大・行財政改革。

海士町は1島1町で昭和25年の人口約7,000人、平成22年2,374人まで減少、高齢化率も39%である。平成の大合併もメリツトも生かされないの思いから自立の選択をし、町単独の決断をした。

給与カット町長以下副町長・教育長・議会・管理職に始まり、職員組合からも自主減額を申出て平成16年度から実施する。

島が生き残るために



総務教育・産業建設常任委員会研修会（海士町）

は徹底した経費削減で守りの戦略で収入増をめざし、攻めの戦略は地域資源を生かした産業と共に雇用の場を増やし、外貨獲得であり島の活性化である。

キーワードは3つあり、その1は海、その2は潮風、その3は塩である。それを基にしたの産品づくりをしハードルの高い東京で評価されたとのことである。

現場第1主義の体制で職員を少なく、産業振興と定住対策部に重点をおき、交流促進課、地産地商課、産業創出課の3課を設置。

財政危機に直面しながらも「自立」「挑戦」「交流」を基本方針として、職員が変われば役場も変わり、役場が変われば住民も変わり町も変わってきた。住

民、町議会、行政が一体となって取り組む姿勢に感銘を受けた。

環境福祉常任委員会

研修日程

8月21日～22日

研修先 香川県三豊市

・直島町

テーマ

「三豊市バイオマスタウン構想」に学ぶ

全国初の民設民営で、可燃ごみを発酵させて肥料と固形燃料にリサイクルする「トンネルコンポスト」方式で処理する方法を採用。

テーマ

「産業廃棄物」の処理
直島環境センター。
「島ごとアート」家プロジェクトを見学した。



直島環境センター

採決一覧・臨時会・意見書

議会日誌

主な議案採決一覧表

議案名	議員名																賛成	反対	採決
	1 西村銀三	2 植田光隆	3 丸山諄二	4 小林一義	5 西脇明	6 中村經逸	7 岡坂峰雄	8 中井勝	9 谷田一富	10 宮本泰男	11 谷口功	12 中井次郎	13 西村敏弘	14 宮脇諭	15 西村公子	16 小林俊之			
行政組織条例の一部改正について	×	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	－	11	4	可決
24年度一般会計補正予算(第4号)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	－	12	3	可決
23年度一般会計決算の認定について	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	－	11	4	認定
町道二日市古市線(第3工区)道路改良工事請負契約の締結	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	－	12	3	可決

○は賛成、×は反対、－は議長職のため採決に加わらない(町長提案 30 件中全員賛成議案は省略いたしました)

臨時会 (平成24年8月10日開会)

豪雪による災害復旧

照来小学校災害復旧工事請負契約の締結

契約金額 117,600,000円

意見書

9月定例議会

兵庫県高等学校普通科の通学区域のあり方に関する意見書

意見書を全会一致で採択し、兵庫県(知事・教育委員長)に提出しました。

過疎地の郵便局のサービス水準を堅持する意見書

(請願者 但馬郵便局長会 美方支部)

意見書を全会一致で採択し、政府関係機関に提出しました。

人事同意

新温泉町教育委員会委員

小南かおる氏を任命
(H24・11・29～28・11・28)

議会日誌

(7月)

4日 議会広報調査特別委員会
10日 総務教育常任委員会
11日 議会運営委員会
11日 兵庫県町議会議長会議
12日 兵庫県町議会議長会議
13日 臨時議会

(8月)

7日 総務教育常任委員会
23日 産業建設常任委員会
17日 議会運営委員会
18日 総務教育・産業建設常任委員会合同視察研修
23日 但馬広域行政事務組合第39回定例議会

(9月)

6日 27日 第55回定例会
10日 環境福祉常任委員会
11日 産業建設常任委員会
13日 総務教育常任委員会
18日 全員協議会・議会運営委員会
21日 決算特別委員会
24日 決算特別委員会
25日 建設常任委員会



挿し絵 清水伸子氏

手つかずの自然、ゆるやかな時間と あなた流の楽しみ方を見つけて下さい！

特定非営利活動法人 上山高原エコミュージアム

代表理事 小畑 和之

扇ノ山のすそ野に広がる上山高原、畑ヶ平、その裾野の周辺集落を「自然博物館：エコミュージアム」に見立てて様々な活動を行っています。当地域は、手つかずの自然が多く残っており、植物、昆虫、野鳥などの観察が楽しめます。また、起伏の激しい地形のためか、たくさん滝やブナなどの原生林が点在しており、地形の成り立ち、変化なども体感できます。

さらに、四季折々の自然を活用して、この地域ならではの歴史や文化に触れたり、各種の自然体験をすることも出来ます。

自然環境の保全に努めながら、この貴重な自然・資源を活用して、地域の活性化に繋がる活動を、地域、行政、民間などの援助を受



霧ヶ滝トレッキング

けながら活動しています。
活動のテーマは「豊かな海は、豊かな森から」としています。

△活動の一部紹介▽

1、上山高原の自然再生活動（ササや灌木を切り取り、ススキ草原を復元、ブナなど広葉樹林の再生活動。）

2、高原、山、原生林、滝などのハイキング、トレッキング、植物観察などの体験活動

3、地域産物の特産品化（椎茸栽培・販売、干しいも、ドクダミ、ササなど7種類の野草茶、かき餅、白炭など）

4、木工、草木染め、かずら編みなどの体験教室

などなど、地元、会員中心に活動しています。
現在は、自然への関わりが、あたり前に出来なくなってきましたが、わたしたちの周辺では、まだまだ「ありのままの自然」と関わることが出来ます。

この大切な資源を保全・活用しながら、地域の再生を目指した活動を展開しています。また、山陰海岸ジオパーク「扇ノ山エリア」としても、活動を充実していきたいものです。地域自然の活用、保全等について、一緒に自然と親しみながら考えてみていただけないか！多くの方々の御参加をお待ちしています。

編集後記

9月は秋空の下子ども園、小学校、中学校の大運動会が開催されました。保護者、家族の方々が参加され「ガンバレ」と力一杯の声援が送られていました。

今年は好天気に恵まれ、米の収穫も多くあったようにお聞きします。よろこばしいことです。

また、秋の深まりと共に漁獲高にも恵まれ地元産の魚が食卓をにぎわしてくれることを楽しみにしています。

議会広報調査特別委員会

委員長	中村 經逸
副委員長	西村 公子
委員	植田 光隆
	小林 義男
	宮本 泰功
	谷口 功

発行者 議長 小林俊之